

かしま 議会だより

第108号

令和3年12月議会号

令和4年1月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



鹿島市消防団出初式（1月8日・中川グラウンド）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
1月28日の議会報告会は中止となりました。

定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
緊急質問	P5
一般質問(11名)	P6～P11
委員会活動報告	P12～P13
議会あれこれ	P14



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索



12日 休会
 13日 休会(議案整理)
 14日 一般質問(3名)
 15日 一般質問(3名)
 16日 休会(議案整理)
 17日 議案審議
 質疑、討論、採決
 閉会

【12月】
 1日 休会(議案研究)
 2日 議案審議、質疑、討論、採決
 3日 議案審議、質疑、討論、採決
 4日 休会
 5日 休会
 6日 休会(議案整理)
 7日 休会(議案整理)
 8日 休会(議案整理)
 9日 一般質問(3名)
 10日 一般質問(3名)
 11日 休会

【11月】
 26日 開会
 ・会議録署名議員の指名
 ・会期の決定
 ・議案の一括上程
 (市長の提案理由説明)
 ・議案審議、質疑、討論、採決
 27日 休会
 28日 休会
 29日 休会(議案研究)
 (発言内容通告締切)
 30日 休会(議案研究)

鹿島市議会
 令和3年12月定例会 会期日程
 1、会期
 自 令和3年11月26日
 至 令和3年12月17日
 2、日程

次のことを審議し決定しました

【12月定例会】

議案番号	議案内容	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松尾勝利	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果	
議案第47号	押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第48号	鹿島市個人情報保護条例及び鹿島市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第49号	鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第50号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第51号	鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第52号	鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第53号	鹿島市干潟交流館設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第54号	令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第55号	令和3年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第56号	令和3年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第57号	令和3年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第58号	令和3年度鹿島市下水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第59号	鹿島市東部地区デイサービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第60号	鹿島市自然の館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第61号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第62号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第63号	市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第64号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第65号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第66号	令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第67号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 ※・・・監査委員のため審議に参加できない

議案審議

報告第47号

押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について



中村 和典 議員

■鹿島市における押印見直しについて

質問 鹿島市における押印見直しの取り組みにつ

いて。

答弁 市民の利便性を図ることを目的に、行政手続きにおける押印廃止を行うため、国のマニュアルをもとに押印廃止の見直しを進めている。現在、市民から提出される申請・届出等の手続きにおいて、押印が必要な手続

き1290件のうち約81%に当たる1050件を廃止し、国・県の法令等により義務づけられている約240件を残す計画である。来年3月末までには、規則・要綱・要領等を改正し、市民の負担を軽減し、市民サービスの向上を図る予定である。

議案第49号

鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定について



稲富 雅和 議員

■販売目的であつて、実際は使用していない軽自動車の課税を免除する制度について

質問一 商品に税金がか

告なのか伺います。

かっている、商品の軽自動車が増えることは良いことだが、市の影響額は。答弁 対象は多く見ても約60台、税額は約100万円となる。

答弁 申請主義で考えている。対象事業者には通知し、ホームページにもアップしたいと考えている。

議案第47号 押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について



徳村 博紀 議員

■国・県・法人関係の押印廃止の状況は

質問 法改正にともなう市内の押印の条例改正だと思いが、県や法務局・ハローワーク等の見直し

状況は。また法人についてはどうか。

答弁 県は1998年に県民からの届出については原則押印を廃止している。ハローワーク・総務省等については、例えば年末調整は昨年まで押印が必要だったが、今年から不要になっている。押印廃止はそれぞれの省庁の考えで進んでいくもの

と考えている。法人については契約書等は地方自治法で押印が決められている。請求書等は押印を廃止している自治体もある。今後課題を精査して廃止できるかどうか調べていきたい。

議案第53号 鹿島市干潟交流館設置条例の一部を改正する条例の制定について



勝屋 弘貞 議員

■干潟交流館の開館日について

質問 水槽等のメンテナンスや類似施設との研修や交流、小中学校に出向

いての派遣型環境教室の開催など、さらなる効果的な運用のために毎週月曜日を休館日にしたとのことだが、修学旅行等の月曜日の受け入れはどのように考えているのか。

答弁 条例の規定の中に、「市長が必要と認められた場合には臨時に開館できる」という但し書きがあるので、臨機応変に対応していく。シャワー施設については、年間通じて使用できるようにしてある。

議案第53号

鹿島市干潟交流館設置条例の一部を改正する条例の設置について



樋口 作二 議員

■交流館の開館時間について

質問 休館日を設けたのは理解できるが、類似施設と同様に、午後5時ま

での開館としなかったのはなぜか。

答弁 干潟交流館「なな海」は、開設以来、道の駅鹿島「千菜市」の営業に合わせて年中無休としていた。

しかし、職員の勤務シフトの構築が難しく、開館日のメンテナンスは来館者に対して不適切であ

り、また、荒尾や東与賀の同様の施設も休館日を設けているのでそれを参考にした。

午後5時以降の来場者は少ないが、コロナ禍の影響があるのか確かめたので夏場の午後6時までの開館は見直さなかつた。

議案第52号

鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について



中村 一堯 議員

■休職した議員、市長、職員の給料やボーナスについて

質問 東京都の都議会議員で問題となったが、議

会へ来なかった議員や市長、休職した職員への給料やボーナスの支給について鹿島市ではどのようなになっているか。

市民の大切な税金が私達の給与やボーナスに使われているので、適切に対応するべきである。

上欠席で3割減、1年以上欠席で5割減になる。市長や副市長は給与の減額は無い。市役所職員は3ヶ月間の病気休暇は減額なし、その後1年間は2割減、1年以上は市役所からの給与は無い。

答弁 議員は3ヶ月以上欠席で2割減、6ヶ月以

議案第55号

令和3年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について



伊東 茂 議員

■高額療養とジェネリック薬品の活用について

質問 今回の補正は1500万円の高額療養費追加となるが、国民健康保

険料の高額負担は多くの市民が不満を持っている。補正概要とジェネリック薬品の活用促進について問う。

答弁 診療報酬明細書の点検(レセプト点検)において高額療養者の調剤に係る療養費が当初予算より不足が生じたため補正を行う。

ジェネリック薬品の活用は鹿島市で約84%の使用率となっており、佐賀県の平均約80%を上回っている。今後も促進を図り、療養費の軽減を目指す。

緊急質問

子育て世帯臨時特例給付金について

中村 一堯 議員

質問 子育て世帯へ10万円の臨時給付金について

は、国会で給付方法が議論され、国民の大きな関心ごとである。鹿島市議会としては、現金10万円の年内一括給付を要望しますが、今度どのように

答弁 鹿島市では、要望通りに10万円の現金を一括で、令和3年12月24日に給付する。すでに5万円給付の通知を送付しているが、再度、給付前に「10万円給付の変更のお知らせ」を対象者に個別発送する。

世帯については、10万円一括給付が可能となったので、早い時期に申請依頼の個別通知を発送する。

また、申請が必要な高校生のみを養育している

議案審議

一般質問に12人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信!

下記のQRコードを読み取っていただければ、12月9日、10日、14日、15日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【12月9日】



福井 正 議員
松尾 征子 議員
池田 廣志 議員

【12月10日】



中村日出代 議員
杉原 元博 議員
樋口 作二 議員

【12月14日】



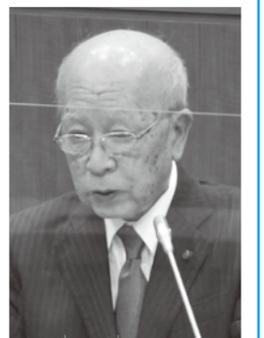
伊東 茂 議員
松田 義太 議員
稲富 雅和 議員

【12月15日】



勝屋 弘貞 議員
中村 和典 議員
松尾 勝利 議員

※議場では、新型コロナウイルス感染予防のためアクリル板を使用して質問、答弁をしています。



福井 正 議員
鹿島市の新型コロナウイルス感染症により影響がある方への経済対策について

質問一 新型コロナウイルス感染症対策と産業支援策の成果と生活困窮者支援策としての貸付状況と返済状況は。返済不能の場合の対策は。
答弁 中小企業者や生活困窮者対策として、家メシ、店飲み・事業継続支援策等11事業5億1千万円の予算で12億6500万円の経済効果があった。農水業事業者対策として、農水業緊急サポート事業に31件637万円、セイフティネット加入助成等5事業に取り組み348件3483万1千円の予算で3800万円の波及効果があった。生活福祉資金191件3100万円貸付。令和5年1月から返済開始だが住民税非課税、障害者の方、生活保護受給者は返済免除となる。

質問二 鹿島市の新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の状況とワクチン3回目接種の予定は。また11歳以下の子供たちの接種状況は。
答弁 ワクチン接種状況は、12歳以上で2回目接種85.6%。3回目接種は12月上旬から医療機関で開始。11歳以下の接種は政府で協議中であり、接種準備をする指示があった。

鹿島市の今後の人口について

質問一 鹿島市の人口は昭和30年の約3万9千人から令和3年の約2万8千人強と1万1千人減少した。出生者増加や移住者増加への鹿島市の取り組みは。
答弁 地元の学生などの就職対策として、企業説明会を3年前から取り組んでおり、参加者や企業



市営中村住宅



市営古枝住宅 (定住促進住宅)

にも好評である。今年度も4回目の取り組みをする予定。また鹿島市だけでなく近隣市町の方にも呼びかけをする予定。またウェブ等様々な広告媒体を使って広報していく。空き家改修に上限50万円の支援を行う。



松尾 征子 議員
無駄なJR鹿島駅周辺整備全体構想

全体的財源も示されない大型事業

質問一 駅周辺整備が鹿島市民に何をもたらすのか。
答弁 通勤・通学者が8割の利用者。新幹線が開通しても利用できると思う。

駅は、暮らし・文化の拠点、交通の結節点。駅周辺はいろんな課題がある。横断歩道や駐輪場、駅からバス停までの距離が長い。三方からの車の乗り入れで送迎者が危険等、ハード面を解決しなければならぬ。

スカイロードとのつながりを改善して中心商店街とのつながりを充実させて街づくりを充実させたい。

意見 答弁されたことは、これまでやってこなかったこと。一つ一つやってい

けばいいこと。今の答弁で鹿島が変わっていくという希望の持てるものでなかった。

質問二 アンケートの結果の受け止めは。
答弁 市民の計画に対する関心が高い。個々にはいろんな意見もあるが、全体的には期待感の意見が多かった。

令和4年から新幹線が開通し、特急本数が減る見込み。スピード感をもって事業の進捗が求められていると思う。

質問三 意見の中には、これからどうなるかわからない長崎本線を核にした市の活性化ではなく、公共施設など作ること。例えば、学校施設の充実をさせること。

答弁 駅の開発は、駅を利用する人だけのものではない。
質問四 事業のための必



周辺整備が計画されているJR肥前鹿島駅前

要財源は。

答弁 事業費は決まっていけない。土地利用について決めた計画。実施主体や全体的な計画も決まっていけない。これから段階的に決めていく。それから予算規模を決めていく。

意見 この大きな事業を取り組む中で、全くの目途もないということは許せない。計画もそうだが、このような事業の取り組みは絶対に許せるものではない。

雇用確保対策について

質問一 雇用を確保するための企業誘致の現状は。
答弁 市の工場用地は無く、整備に向けて検討中です。現時点では工場用地がいらぬ、事務系やIT関連産業の誘致に、県と連携して取り組んでいる。

質問二 国道207号バイパス沿線を開発し、雇用を生み出す取り組みは。
答弁 一種農地のため、開発できないが、農業者を雇用する条件で転用許可された事例はある。都市計画を見直す必要がある。

県立大学の誘致について

質問一 県立大学を誘致する考えはないか。
答弁 少子化で既存の大



池田 廣志 議員
人口減少を緩和する施策と対策について

学も運営が厳しく、県議会の知事答弁でも運営費が高いと厳しかったので、新設は困難だと思ふ。

質問二 県南西部地域の高速交通体系が、周辺の市や町と比べても厳しい。そこで、県内の市や町には無い、歴史に裏打ちされた「大手門、花のトンネルに赤門」を生かした県立大学の誘致を県に強く要望して欲しい。

答弁 鹿島の人口減少対策は、喫緊の課題なので、鹿島でこのような要望があることを県に伝える。

交流人口と少子化対策について

質問一 人口減少が町の元気を低下させるので、祐徳稲荷神社の観光客を鹿島市内に一人でも多く留める施策を関係者と早急に協議すべきと思うが。
答弁 交流人口と共に関

答弁 病後児保育の設置に向けて、要望していく。児童公園への遊具の設備は、場所・遊具等を今後検討する。





中村 日出代 議員

鹿島小学校体育館側のトイレの改修について

質問一 鹿島小学校体育館側のトイレが設置されたのはいつか。

答弁 昭和54年3月に建設されている。

質問二 昨年、小便器が詰まって匂いがひどいと教育総務課にお願いして流れるようにしてはしてもらった。その後改修してもらえなかったが、あのトイレの状況を見て対策をしなければとの問題意識はなかったのか。

答弁 学校からも継続して要望があった。しかし市内全学校要望の中で緊急を要するものを先行した。

質問三 生徒の皆さん達には清潔な環境の下で学校生活を送ってもらいたい。

答弁 教育総務課でも改修の必要性を感じている。学校と調整を図り、早く

清潔な環境が整備できるよう計画を進めたい。

中央児童公園の整備について

質問一 ユニバーサルデザイン遊具の紹介を。

答弁 小さな子供でも利用できる遊具。遊具の形として、上り降りがしやすい低い階段と2種類の滑り台、アーチ形ブリッジ、うんてい等のカラフルな楽しい遊具の設置を想定している。

質問二 駐車場の整備計画はどのようになっているのか。

答弁 駐車場整備の要望は付近の住民から出されている。まず遊具の設置を優先し、その後検討する。

燃えるゴミ袋の強化について

質問一 燃えるゴミ袋の強化について

答弁 燃えるゴミ袋の強化について

強化要望についての進捗状況は。

答弁 高圧ポリ袋（ビン用）と中低圧ポリ袋（燃えるゴミ袋用）のモニタリング調査を行なっている。アンケート結果を待つてより良い選択ができるように検討する。

質問二 ゴミ袋を改善するのかもしれないのか、市民への広報はどのようにするのか。

答弁 市報と回覧板で広報する。

危険空き家対策について

質問一 危険な空き家対策について市への対応は。

答弁 令和5年3月には空き家等対策計画を策定し、危険な空き家の調査を行う。

意見 危険な空き家は法律に基づき行政執行等の措置も検討課題である。



杉原 元博 議員

孤立する高齢者への支援について

質問一 鹿島市の65歳以上の高齢者人口と総人口に占める割合は。

答弁 令和3年10月末現在9362人、高齢化率は33.1%。

質問二 高齢者が地域の中で繋がりを持てるようになる対応策について聞く。

答弁 鹿島市老人クラブ連合会にお願いしている「友愛活動事業」、社協中心に取り組んでいる「愛の一声ネットワーク活動」等がある。

質問三 高齢者の引き籠もり対策について伺う。

答弁 総合相談支援事業や訪問型サービスCなどがある。また、生活支援体制整備事業では、「シニアカフェ」や「認知症カフェ」を開設している。

質問四 ゴミ戸別収集（ふれあい収集）事業は見守り活動として声掛けを行うという点からも重

要な取り組みであると思うが、考えは。

答弁 11月に四者協議を行い情報交換をした。今後は区長会や民生委員の方々のご意見も伺いながら、より良い方法を模索していきたい。

空き家対策について

質問一 老朽化した危険空き家の最新の状況（件数を聞く）。

答弁 管理不全状態の空き家件数は市内全域で81件、うち、危険な状態の空き家は26件である。

質問二 今後は空き家調査結果を作成して、徹底した進捗管理を提案したい。

答弁 現状調査において提案のように対応を行い、空き家の危険度判定調査も、個別に台帳を作成し管理していきたいと考え

ている。

質問三 老朽危険家屋の対策について聞く。

答弁 来年「空き家等対策計画」を策定し、具体的活用や除去について施策を検討する。

質問四 老朽危険家屋の解体費用の補助について伺う。

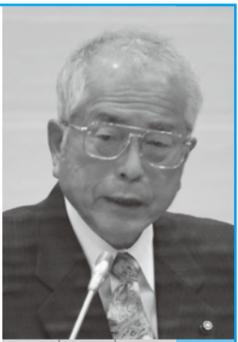
答弁 危険空き家除去補助金制度を設置し、非課税世帯の条件はあるが、二分の一補助、最大50万円の補助制度がある。

質問五 解体後の土地の固定資産税の減免はどのようになっているのか。

答弁 現在、空き家対策での減免制度はない。

質問六 空き家バンク制度活用について聞く。

答弁 月刊誌「田舎暮らしの本」で、市内の空き家物件の紹介掲載を持続的にを行い、より一層のマッチングを促進している。



樋口 作二 議員

新自由主義社会の中で、市民の暮らしはどう変わったのか。

質問一 新自由主義はなぜ見直しを叫ばれているのか。

答弁 新自由主義とは、市場への国家の介入を最小限にして自由競争による経済の活性化をはかるものだが、自由競争は大企業に有利に働き、非正規雇用が進んだことなどにより貧富の差が拡大し、頑張っても報われない社会にしまったと指摘されている。

質問二 鹿島市民の所得はどう変わったのか。

答弁 農漁業では、従事者数は漸減しているにもかかわらず、産出額はその年の環境に左右されつつも漸増しており、現農漁家の頑張りが伺われる。給与所得者も人数は変わらないが給与総額は漸増しており、統計からは市民が貧困化しているとは言えない。

社会のデジタル化について

質問一 社会のデジタル化はどう進んでいるのか。

答弁 新型コロナにより人との接触が制限されたことが、社会のデジタル化を推し進めた。国ではデジタル庁が組織され、AIの活用などによる多様な働き方が推奨されている。自治体においてもデジタルをいかに活用して仕事を効率化し、住民の利便性を高めることができるか考察している。

質問二 キャッシュレス決済の問題点はないのか。

答弁 感染症対策としてキャッシュレス決済が一気に進み、カードだけではなくQRコードでのスマホ決済も増えてきた。しかしセキュリティに関しては問題点が多く、カード情報を盗まれるな

どのフィッシング詐欺の被害が問題視されている。

質問三 教育にデジタル化は馴染むのか。

答弁 GIGAスクール構想を進展させ、オンライン授業やデジタル教科書も行ってきた。デジタル化が進んでも、直接体験による学びや紙の教科書は重視され、教育の根本は変わらないと考える。



市議会オンライン会議



伊東 茂 議員

将来に向けての更なる財政健全化について

質問一 新型コロナウイルス感染症の影響により地方の景気回復は不透明であり、更なる少子高齢化が進むと思われる。今後、本市が直面する課題は財政基盤の健全化が必要である。行財政運営プランの説明を求む。

答弁 第7次総合計画達成と持続可能な街づくりを目指し5年間の方向性を示すものである。内容は①組織・職員数の見直し、職員の能力向上を目指す。②安定的且つ健全な財政運営のための財源の確保、事業の見直しを行い、社会状況を踏まえ、毎年見直しを行って行く。

自主財源の確保の取り組み

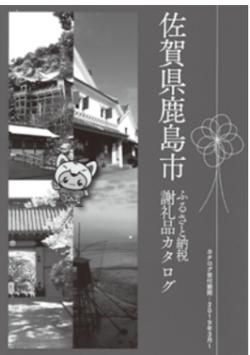
質問一 将来的には自主財源となる市税（市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・入湯税）も現在の歳入30億円を割り込むかも知れない。減少していく自主財源の確保と市民サービスの現状維持のためにも、他市と肩を並べる10億円以上のふるさと納税寄付金を増やす努力が必要である。返礼品充実のための業者プレゼンテーションや寄付金獲得上位の県内自治体との意見交換や勉強会など情報収集が必要と

考えるが、今後の取り組みを問う。

答弁 ふるさと納税はまちづくりの貴重な財源であり、鹿島市のファンづくり、産業の発展にも繋がる。

今後の取り組みは①返礼品の充実②メルマガジンによる返礼品の紹介③インスタグラムの開設などを充実していく。業者プレゼンテーションは行っていないが、検討する。

また、様々な情報収集に努め、返礼品納入業者への訪問、県内自治体との意見交換に努め、魅力ある返礼品の充実を目指す。



佐賀県鹿島市 謝礼品カタログ
ふるさと納税寄付金の返礼品パンフレット



松田 義太議員

アフターコロナに向けた 観光振興について

今後の観光キャンペーンの取組みについて

質問一 佐賀県内初の新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、緊急事態宣言、佐賀県独自の時短要請が繰り返しの行われ、市内の観光産業を中心に飲食業・その納入業者、バス・タクシートの運輸業等が大きな影響を受けている。来年、観光の起爆剤として、九州新幹線（西九州ルート）長崎武雄間暫定開業に向け佐賀・長崎デスティネーションキャンペーンが予定されている。その概要について伺いたい。

答弁 2022年（令和4年）秋に佐賀県・長崎県で開催されるキャンペーン。JRグループ6社と自治体、地域の関係者が協力し、全国規模で集中的に観光誘客を行う国内最大規模の観光キャンペーン。

質問二 このキャンペーンへの鹿島市の誘致活動についてお知らせください。

答弁 JR及び旅行代理店への誘致活動を展開している。先日も代理店の担当者市内の観光地を案内した。

質問三 今後の観光戦略を考える場合、鹿島市だけでは拡がりに欠ける。南西部地域の連携が重要と思うが、市の取組みは。

答弁 JR及び旅行代理店への誘致活動を展開している。先日も代理店の担当者市内の観光地を案内した。

質問四 先日の祐徳稲荷神社のお火たきでは、新型コロナウイルスの影響が心配されたが、昨年より多くの人で賑わう様子に、門前商店街の方から賑わいが戻った祐徳稲荷神社お火たき

答弁 これまで、国・県・市の様々補助金、給付金、支援策に取り組んできた。今後も国の経済対策を注視し商工会議所を始め、関係機関と連携し経済対策に取り組みたい。



賑わいが戻った祐徳稲荷神社お火たき

社会環境の変化と対策

質問一 今回の国勢調査を見て市長はどのような感想を持たれているのか伺いたい。

答弁 全国予想通り。人口問題研究所の予想より鹿島市は上回っている。鹿島市は上回っている。鹿島市は上回っている。

魅力あるまちづくり（移住、定住の促進）
質問一 佐賀リクスFCが4月から市民クラブとして新たなスタートを切る。選手、スタッフなど総勢31人で構成され、多くの若者が移住、定住されている。

質問二 年間の21試合のリーグ戦、その合間でボランティアに参加、保育園でのサッカー教室地域に貢献。中学校でも教室を開けるよう整える事が可能なか。

答弁 外部指導者として来て頂くのは学校長の判断。これから先、応援して頂けるなら教育委員会も調整して体制ができるように協力していきたい。



稲富 雅和議員

鹿島市のまちづくりの 課題と対策について

ふるさと教育を丁寧に行う

ふるさと教育を丁寧に行う。スポーツにはいろんな力がある。考える。する、みる、支える。スポーツなのでしっかり応援する。社会増をもちます。施策は定住促進をめぐって住みやすく暮らしやすいまちづくりを進める。

質問二 ニューディール構想で、70億円の使い道が決まっていたが、いくらか使ったのか。

答弁 概ね60億円を使った。最後は、市民会館建設事業である。

中村 和典議員

市長の政治姿勢について

質問一 3期で勇退を決意された理由は。

答弁 答えにくいですが、市民に迷惑をかけたとか、健康上の理由とかマイナスの理由ではない。

質問二 3期12年の思い出は。

答弁 平成28年がピークで、警察署や、総合庁舎の撤退の話があったが、新築移転や防災センターとして鹿島に残すことができた。囲碁の寛蓮さんの殿堂入りができたこと等。

質問三 ニューディール構想で、70億円の使い道が決まっていたが、いくらか使ったのか。

答弁 概ね60億円を使った。最後は、市民会館建設事業である。

質問四 自己採点をすれば何点か。

答弁 自分が採点すべきではないが、合格点には達していると思う。

質問五 副市長から見た市長の評価は。

答弁 行政手腕能力や危機管理意識の高さ、閉塞感からの脱却、国・県・近隣市町との連携、プロジェクトの取り組み、風通しの良い役所づくりなどで評価できる。

質問六 選挙公約の達成について。

質問一 第一期工事の進捗状況は。

答弁 870・6mを発売し、現在475mが完了し、54・5%の進捗で

質問二 工事は予算の範囲内で進んでいるのか。

答弁 予算内ですべて進んでいる。

質問三 工事が遅れている理由は。

答弁 受注した業者が災害復旧工事を優先させたため、現場で転石、地下水、埋設物などが発生し調査に時間を要したため。

質問四 初めてのデザインビルド一括発注方式の実施であるが、何か問題点はないか。

答弁 事業完了まであと3年あるが、現場では想定外のこともあるが、新しい低コスト工法を用いて事業を進めたい。



勝屋 弘貞議員

社会体育について

質問一 鹿島市の取り組みについて。

答弁 学校教育や社会教育の中でスポーツや文化の活動を通じて、お互いに学び助け合いながら生涯にわたり学習することができ環境づくりが重要。市民が楽しみ生き甲斐を見出せるように、社会教育の推進と文化スポーツの振興を図っていく。施設の維持管理や利用の要望については適時対応してきた。施設の設置については、費用面や緊急性を考えて、対応できていないところもある。

質問二 学校施設を利用した社会体育の備品整備については、生涯学習課として対応すべき。授業で使用しないものについては準備しないというところでは、社会教育の方針にある重要目標の「市民のだけれど、いつでもど

こでも、なんでも学べる環境の整備と機会の提供が重要」とあることに反する。

JR肥前鹿島駅周辺整備構想について

質問一 これからの流れについて。

答弁 現在、全体構想が出来上がったところ。R3年11月からR5年3月にかけて、基本計画・基本設計・活用計画を策定していく。それ以降は事業者ごとに詳細設計が着手できるよう進めていきたい。関係機関が多く調整が必要だが、協力し合い、スピード感をもって取り組む。



改修された大分県宇佐市のJR柳ヶ浦駅舎

質問二 JR鹿島駅周辺整備デザイン検討会議（仮称）の構成メンバーは。

答弁 一貫した事業の進行を考えると専門的知識が必要で、県、市、JR、学識経験者、専門家、構成予定。市民・事業者は、まちづくり会議でワークショップ等に参加いただき、そこでの意見を集約しデザイン会議で検討するということになる。県と市は共同事務局として出席し、意見をまとめていく。

【文教厚生産業委員会行政視察報告】

■日 程 令和3年11月15日～17日

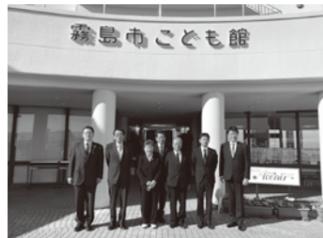
■文教厚生産業委員会 委員長:樋口作二 副委員長:稲富雅和
委 員:池田廣志、伊東茂、徳村博紀、松尾征子、松田義太

1. 鹿児島市ボランティアセンター(11/15) 「鹿児島市のボランティア事業の取り組みについて」

鹿児島市では市民の幅広い支援活動をボランティアととらえ、それを統括するのがボランティアセンターの役割であった。子どもから高齢者まで、34,530人、鹿児島市総人口の6%の方が登録されており、みんなサポートするという機運が素晴らしいと感じた。

2. 霧島市こども館(11/16) 「子育て支援事業の取り組みについて」

霧島市こども館は、縄文遺跡で有名な上野原遺跡と同じ小高い山の上に位置し、霧島市街や錦江湾が一望できる素晴らしい環境に開設されていた。施設全体に子供の喜ぶ工夫が随所にみられ、鹿児島県内は無論、他県からの利用者もあっている。鹿児島市も同様の施設を開設し賑わっているが、子育て環境には立地条件が大切だと思える。



3. 九州農政局(11/16) 「有明海再生の取り組み、中山間地域における農業振興策について」

有明海再生・諫早湾問題では、開門によらない基金による解決とした見解以外の説明はなかったが、中山間地の課題については、最適土地利用対策と称して熱心に取り組んでおられた。

4. 熊本県御船町 星の森ヴィラ(11/16)

「グランピング事業について」

星の森ヴィラは、阿蘇外輪山のすそ野に広がる吉無田高原に建てられておりキャンプ場やマウンテンバイクコース等いろいろなアウトドア施設がある中の一つとしてグランピングが整備されていた。施設には、冷暖房、風呂、ベッドなど完備してあり高級なアウトドア宿泊施設として人気がある。しかし、グランピング事業の単独開設では多くの人は呼べないのではないかと思った。



5. 荒尾干潟水鳥・湿地センター(11/17)

「センターの運営と観光活用について」

鹿児島市干潟交流館「なな海」と比較すると、展示環境は、はるかに荒尾水鳥・湿地センターが充実していた。2階スペースには、支援団体の活動が紹介してあり、市民の干潟環境の重要さの理解が進んでいるのが感じられ、「なな海」でも、活動を支援するボランティアの育成が必要であると感じた。



6. 道の駅むなかた(11/17) 「経営形態や市との関わりについて」

道の駅むなかたは、宗像市により建設され、毎年16億円以上の売り上げを記録しているが、市は利益の還元を求めている。運営は宗像市も含めた5団体で構成された「株式会社むなかた」が行っており、施設の増設など事業の拡大が続いている。道の駅鹿島は民間団体のみで運営されており、安定性や将来性について鹿児島市としても注視し、支援する必要があるのではないかと思える。

【総務建設環境委員会行政視察報告】

■日 程 令和3年11月10日～12日

■総務建設環境委員会 委員長:中村和典 副委員長:中村一堯
委 員:杉原元博、勝屋弘真、福井正、松尾勝利、角田一美

1. 長崎県大村市役所(11/10)

「ごみ戸別収集・し尿汲み取り手数料について」

手数料については市の条例に基づく改定ではなく、関係機関・団体に組織する保健環境連合会の合議制に委ねられているため、専門部会で審議し決定されている。鹿児島市においても条例廃止の方向で検討されているので、大村市を参考にすべきだと感じました。



2. 大分県別府市役所(11/11)

「RPA・避難所の感染予防システムkintone等」

ロボットによるRPAやAI-OCRといったデジタルツールを利用し、時代の先端を行く業務の効率化や職員の負担軽減、市民サービスの向上を目指されており、当市でも大量に発生する業務や定期的な業務については、参考になりました。



3. 福岡県豊前市役所(11/11)

「危険老朽家屋等除却推進事業について」

平成12年より条例を制定し、除却促進のための補助金交付制度や除却後の土地に対する固定資産税の減免制度等早くから一歩進んだ取り組みがなされていました。空き家の実態調査も、毎年ち密に行われており、大変参考になりました。



4. 大分県宇佐市役所(11/12)

「JR柳ヶ浦駅駅舎・駅前周辺整備について」

現在鹿児島市で計画されているJR肥前鹿島駅周辺整備の取り組みとほぼ同じ取り組みで、駅前広場整備は完了していないが、鹿児島市の整備計画構想とダブって見えました。完成後のイメージも想像できました。



5. 福岡県田川市役所(11/12)

「移住・定住対策について」

廃校をうまく利用した(いいかねパレット)は、拠点を中心に利用して、好きな時に、好きな場所で、働き、暮らせる、遊べるスペースで、珍しくもあり、今後空き家や空き店舗の活用策として、ブームになる可能性があり、鹿児島でも検討する価値があります。

議会あれこれ (令和3年10月～12月)

10月

- 6日 総務建設環境委員協議会
- 6日 文教厚生産業委員協議会
- 6日 議会運営委員会
- 11日 議会だより編集委員会
- 14日 総務建設環境委員協議会
- 18日 議会だより編集委員会
- 25日 議会だより編集委員会
- 27日 総務建設環境委員協議会
- 27日 文教厚生産業委員協議会
- 29日 佐賀県西部広域環境組合議会10月定例会

11月

- 2日 国道498号整備促進期成会要望活動(佐賀県)
- 4日 タブレット型端末議員研修
- 9日 議会運営委員会
- 10日～12日 総務建設環境委員会行政視察
- 15日～17日 文教厚生産業委員会行政視察
- 18日 全員協議会
- 18日 文教厚生産業委員協議会
- 19日 総務建設環境委員協議会
- 19日 文教厚生産業委員協議会
- 19日 議会報告会プロジェクト会議
- 24日 議会運営委員会
佐賀県後期高齢者医療広域連合11月定例会
- 26日 12月定例会 開会 議案の上程
議案審議(～12月17日)
全員協議会
議会報告会プロジェクト会議



12月

- 2日 12月定例会 議案審議 質疑、討論、採決(～3日)
- 2日 議会報告会プロジェクト会議
- 9日 12月定例会 一般質問(～10日)
- 10日 議会運営委員会
- 14日 12月定例会 一般質問(～15日)
- 14日 公共交通対策特別委員協議会
- 15日 議会報告会プロジェクト会議
- 17日 全員協議会
12月定例会 議案審議、質疑、採決 閉会
全員協議会
- 20日 議会だより編集委員会
- 24日 議会だより編集委員会
- 27日 議会運営委員会

行政視察受入状況 (令和3年10月～12月)

11月16日 山梨県甲斐市議会 6名

11月26日 大分県別府市議会 2名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	10月		11月		12月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	1	3,000	0	0	1	3,000
会費	0	0	0	0	3	14,000	3	14,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	2	25,500	2	25,500
合計	0	0	1	3,000	5	39,500	6	42,500

【お詫びと訂正】

昨年10月に発行した議会だより第107号の14頁議長交際費・件数合計欄に「1」とあるのは「0」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

毎年十二月八日に開催されている祐徳稲荷神社のお火つき。昨年はコロナ感染症の影響により例年の3割の人出だったのが、今年は8割まで戻ってきました。ホッとする一方で、二月、六月、九月には緊急事態宣言が発出され、今年も新型コロナウイルス感染症に振り回された年でした。ようやく2回目のワクチン接種率が総人口の78%となり、人々の経済が動き始めています。議会では2年ぶりに議会報告会を一月に開催予定、四月には鹿島市長選です。行き先に一筋の新しい光が見えてきています。

(追記)

一月に入ってから新型コロナウイルスが蔓延しているため、一月二十八日に予定していた議会報告会の開催は中止することにいたしました。

令和3年度 かしま議会だより編集委員会

編集委員長 中村 一堯
副編集委員長 松尾 勝利
編集委員 松尾 征子
顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。